

次に、病気の知識に関して適切に援助してくれる人の有無について、診療介助業務に携わっているか否かによる業務別に見ると、診療介助業務に携わっている群は、医師が最も適切に援助してくれると答えている。また診療介助業務に携わっていない群も同様に医師が適切に援助していると答えているが、社外にいると答えている割合も高い（表68）。

## Ⅶ 研修の受講回数とこれから学びたいこと

### 1 研修を受けたことの有無

産業看護に従事してから研修を受けたことの有無を尋ねたところ、9割近くが研修を受けたことがあると答えている（表69）。

表69 研修参加の有無

研修を受けたことがある	177 (88.1)
研修を受けたことがない	23 (11.4)
無 回 答	1 (0.5)
計	201 (100.0)

### 2 研修参加で形態と参加回数

#### a) 事業所が費用全額負担によるもの

勤務扱の研修参加で費用が事業所全額負担による参加回数は、5回以上が最も多く、次いで1回となっている。平均参加回数は4回（表70）。

表70 事業所が費用全額負担による研修参加回数

0 回	3 (1.5)
1 回	31 (15.4)
2 回	30 (14.9)
3 回	25 (12.4)
4 回	18 (9.0)
5 回以上	46 (22.9)
無 回 答	48 (23.9)
計	201 (100.0)
平 均	4.0回 (無回答を48除く)

#### b) 1部個人負担によるもの

研修参加費用が1部個人負担による参加回数は、a)と同様に1回が一番多く、次いで2回が多い。また無回答が多い。これは参加していないと考えられる。平均参加回数1.3回（表71）。

#### c) 全額個人負担によるもの

研修参加が全額個人負担によるものの参加回数をみると、1回が最も多く、次いで2回となっている。またこれも無回答の割合が高い。この無回答も参加していないのではないかと考えられる。このように

表71 1部個人負担による研修参加回数

0	回	7 ( 3.5)
1	回	8 ( 4.0)
2	回	7 ( 3.5)
3	回	1 ( 0.5)
4	回	2 ( 1.0)
5	回以上	3 ( 1.5)
無	回答	173 (86.1)
計		201 (100.0)
平	均	1.3回 (無回答を173除く)

表72 全額個人負担による研修参加回数

0	回	7 ( 3.5)
1	回	13 ( 6.5)
2	回	10 ( 5.0)
3	回	1 ( 0.5)
5	回	1 ( 0.5)
6回	～ 9回	2 ( 1.0)
10回	～ 15回	3 ( 1.5)
20	回以上	2 ( 1.0)
無	回答	162 (80.6)
計		201 (100.0)
平	均	1.3回 (無回答を162除く)

表73 受講したい研修内容 (複数回答)

最新の医学知識 (検査に関すること)	109 (55.9)
最新の医学知識 (治療に関すること)	108 (55.4)
健康教育に関すること	133 (68.2)
統計・コンピューターを用いた情報処理	97 (49.7)
保健指導・健康相談に関すること	142 (72.8)
労働安全衛生法に関すること	59 (30.3)
産業看護の有り方に関すること	117 (60.0)
事業所内での働き方に関すること	64 (32.8)
面接技法・カウンセリング	132 (67.7)
成人病の栄養指導	117 (60.0)
労働衛生 (VD T, 有害物, 疲労など)	79 (40.5)
その他	10 ( 5.1)
回答者数	195(100.0)

全額個人負担では全く参加していない人と、最高24回と個人差が大きい。平均1.3回 (表72)。

### 3 受講したい研修内容

これから受講したい研修内容で最も希望が多かったものは、保健指導・健康相談に関することである。次いでメンタルヘルス、健康教育に関すること、面接技法・カウンセリングといった、いわゆる健康相談に関連する事項に希望が多い (表73)。

所持免許別にみると、保健婦+衛生管理者は全体的に研修希望をしている割合が低い。看護婦+衛生管理者では保健指導・健康相談に関することを希望している割合が高い。保健婦は、最新の医学知識 (治療に関すること)、健康教育に関すること、面接技法・カウンセリング、メンタルヘルスに関することを希望している割合が高い (表74)。

病院・診療所に勤務した経験の有無別にみると、勤務経験がある群は産業看護のあり方に関すること、成人病の栄養指導の受講を希望している割合が高い。一方勤務経験がない群では、健康教育に関するこ

と、メンタルヘルスの受講を希望している割合が高い（表75）。

## 4 学びの場

産業看護で実力をつけるうえで役に立っている場所と、求めている場所・内容等について自由に記述してもらった。

役に立っている場所は産業看護の研修会という答えが圧倒的に多い。また研修を中心とした人脈によって様々な情報を得ているという現状である。

求めている場所・内容は、充実した研修内容と、研修の情報や最新の医学知識などである。

### 役立っている場所

産業看護の研修会，そこで得る人脈	90
別の職場（学生時代の友人や，以前勤務していたところも含めて）に勤務している看護職の友人	22
雑誌・本・テレビなどからの情報	17
仕事の現場	12
職場の同僚看護婦との意見交換	8
同じ企業で他の営業所の看護職との意見交換	5
社内（同じ職場での違う職種・セクションの人）での意見交換	4
サークル活動などで違う職種・年齢の人たちと交流すること	4
上司・先輩のアドバイス	3
産業カウンセリングなど，業務に関連した研修会	2
臨床からの情報	2
個人研修	1

### 求めている場所・内容

産業看護従事者の研修会・連絡会	55
最新の医学知識を学ぶ場	12
他の企業への見学	5
職場内での勉強会	3
職場の管理者と話し合う場	2
職員（従業員）と接する機会	2
同一企業で他の事業所に勤務している看護職との交流の場	2
カウンセリングの方法の勉強会	2
地域の企業との話し合い	1

表74 受講したい研修内容（複数回答）、所持免許別

	最新の医学知識（検査に関すること）	最新の医学知識（治療に関すること）	健康教育に関すること	統計・コンピューターを用いた情報処理	保健指導健康相談に関すること	労働安全衛生法に関すること
保健婦+ 衛生管理者	34 (47.2)	34 (47.2)	50 (69.4)	38 (52.8)	50 (69.4)	22 (30.6)
看護婦+ 衛生管理者	23 (60.5)	24 (63.2)	30 (78.9)	22 (57.9)	31 (81.6)	13 (34.2)
保健婦	11 (73.3)	11 (73.3)	14 (93.3)	9 (60.0)	11 (73.3)	3 (20.0)
看護婦	41 (58.6)	39 (55.7)	39 (55.7)	28 (40.0)	50 (71.4)	21 (30.0)
回答者数	109 (55.9)	108 (55.4)	133 (68.2)	97 (49.7)	142 (72.8)	59 (30.3)

表75 受講したい研修内容（複数回答）、病院診療所勤務経験の有無別

	最新の医学知識（検査に関すること）	最新の医学知識（治療に関すること）	健康教育に関すること	統計・コンピューターを用いた情報処理	保健指導健康相談に関すること	労働安全衛生法に関すること
勤務経験あり	89 (57.1)	86 (55.1)	104 (66.7)	73 (46.8)	112 (71.8)	46 (29.5)
勤務経験なし	19 (51.4)	21 (56.8)	28 (75.7)	23 (62.2)	28 (75.7)	12 (32.4)
無回答	1 (50.0)	1 (50.0)	1 (50.0)	1 (50.0)	2 (100.0)	1 (50.0)
回答者数	109 (55.9)	108 (55.4)	133 (68.2)	97 (49.7)	142 (72.8)	59 (30.3)

前任者との話し合い 1  
 情報処理の方法 1

## VIII 現在の悩み

産業看護を行ううえで、業務上の悩みとなっていることについて自由記述をしてもらった。

### 医師の問題

常勤の産業医がない。医学的な処置に関しては助言するが、組織内の活動に関しては何も言わない。企業の利益を重視した意見を出す。メンタルヘルスに無関心、高齢者のためパワー不足等。 15